

令和5年度公益社団法人日本小児歯科学会
九州地方会 第2回役員会議事録

日時：令和5年10月28日（土）午後4時～

開催場所：福岡市歯科医師会館 1階第1・2会議室

出席者：空田 安博、福本 敏、今村 均、岡 暁子、増田 啓次、馬場 篤子、田上 直美、
稲田 絵美、板家 智、福島 直樹、堀内 礼子、木船 敏郎、井上 浩一郎、宮川 尚之、竹
島 勇、柳田 憲一、西田 郁子、石谷 徳人、山崎 要一、尾崎 正雄、佐伯 桂、藤田 優子
欠席者：渡辺 幸嗣、舩元 康浩、宮崎 修一

(敬称略)

1. 開会の辞

・福本副会長が開会の辞を述べられた。

2. 会長挨拶

・空田会長がご挨拶を述べられた。
・福岡県代表幹事が議長に選出され、賛成多数で承認された。

3. 報告事項

① ニュースレター発刊について

・藤田広報幹事より令和5年度ニュースレター発刊のご報告があった。

② 第41回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について

・馬場準備委員長より第41回地方会大会および総会の概要についてご説明があった。

③ 第42回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について（資料1）

西田特別幹事より資料1を用いて第42回地方会および総会の概要についてご説明があつた。

④ 来年度以降の予算や決算について（資料2）

・岡大会長より資料2を用いてご報告があり、支出予算案について賛成多数で承認された。

・岡大会長より九州地方会では抄録集を紙媒体で各地方会に郵送しているの、九州地方会としてそれを行うのかどうか、行うのであれば、郵送費等それなりの予算が必要であるが、九州地方会会員の先生がたのご意向に沿った形にしていくのが良いとご提案があった。

・岡大会長より口腔保健協会に事務局をお願いしてもホームページの立ち上げ等に20万円ほどの予算が必要であったなど、始めにまとまった予算が必要であり、また、地方会からの補助金50万円は原則返還するとのことであるが、現実問題としては厳しい旨ご報告があつた。

た。

・木船県代表幹事より、紙媒体での抄録集配布は会員の大会参加の動機付けになるため、行った方が良くのご意見があった。

・木船県代表幹事より、大会の予算や収支などを会員に公表して、赤字だということを周知していくことは大切だのご意見があった。

・山崎監事より、今後、地方会大会を開催するたびに「基本的に補助金は返済」ということを言われると、赤字が出せない、予算に収めなければならないという発想になり、招聘したい演者を呼べない、大学のない県で地方会を開催できない（施設使用料が大学施設のほうが割安なため）等、発想が貧困になっていき、「大学の無い県でも小児歯科の活性化を」という地方会の存在意義が果たせなくなるのではないかとのご意見があった。

・岡大会長より、余った補助金は返してくださいという意味である旨ご説明があった。

・石谷特別幹事より、日本小児歯科学会が公益社団法人化した際に、地方会の通帳は年度末に一度 0 円に戻すこととなったため、年度末に一度づるという意味であり、余った補助金を返せというニュアンスではないこと、予算をづるために年度末にも役員会を開催する必要が出てくる旨ご説明があった。

・山崎監事より、余剰金を返還することは何の問題もないが、もし、50 万円を全て返済しなくてはならないとなると、赤字が出せないという原則が大会長や大学教員を委縮させてしまい、今後、地方会大会の規模やありかたが縮小の方向に向かうのではないかとのご意見があった。抄録集の印刷代等も必要な予算はしっかり出していくのが望ましいのではないかとのご発言があった。

4. 審議事項

① 令和 6～7 年度日本小児歯科学会九州地方会役員について

・次期会長に福本副会長が承認されたが、福本副会長より、事情により、地方会会長を辞退する可能性がある旨のお申し出があった。福本副会長が次期会長を辞退なさる場合には、2024 年の 3 月に臨時役員会を開催し、岡常任幹事が次期地方会会長となる旨ご提案があり、承認された。

② 第 41 回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について（資料 3）

・第 41 回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について資料 3 のとおり承認された。

③ 第 42 回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会予算案について（資料 4）

・岡大会長より、①歯科衛生士の会費を 2,000 円から 4,000 円へ値上げ、②歯科医師の参加費の値上げの検討（学会の収入において参加費が大部分を占めるため）、③認定歯科衛生士の認定料を規則に則り 3,000 円に変更、④託児の受益者負担は規則に則り 3,000 円に変更、⑤託児の運営費について、利用者の人数によっては保育士が 2 名必要な場合もあり、人件費がかかるため、予算を引き上げる、との助言をいただき、予算を再検討することで承認を

いただいた。

・今村副会長より、もし抄録集を印刷して郵送となるとどれくらいの予算がかかるのかご質問があり、山崎監事より、印刷代と郵送代あわせて20万円ほどかかったとご回答があった。

・岡大会長より、ニュースレターと同時に抄録集を郵送するとなると抄録集を早く作成する必要があり、負担が増える旨ご発言があった。

・福本副会長と岡大会長より、抄録集を紙媒体にするのかPDFにするのか、全国の地方会で統一した方が良い旨ご提案があった。

・竹島県代表幹事より、若い世代は紙媒体を不要と考える人が多くなっているため、時代に合わせて削れるものは削り、講師謝礼等別のことに予算を組むのが良いとのご発言があった。

・岡大会長より、抄録集の紙媒体が必要な会員は有料で当日購入してもらうこととし、主催者は毎年一定数（例えば50部など）の抄録集の冊子を準備するという方法であれば良いのではないかとのご提案があった。

・石谷特別幹事より、JSPPではニュースレターにチラシを入れることにより広告収入で採算をとっている旨ご発言があった。

・木船県代表幹事より、参加費の値上げをしたら良いのではないかとのご提案をいただいた。岡大会長より、規約に参加費は5,000円と明記されている旨ご説明があったが、石谷特別幹事より、関東地方会の参加費は6,000円であったと記憶されており、参加費値上げやその他予算について実施可能な収支改善について議論されるべきではとのご発言があった。岡大会長より、執行部や大会長は常に変わるため、しっかり引き継ぎをすることが必要である旨ご発言があった。

・山崎監事より、執行部や会計担当者に参加費の値上げを含めてしっかり議論していただくようお願いをしてはとのご提案があった。

④ 第43回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催地について

・第43回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会開催地は鹿児島大学で承認をいただいた。

⑤ その他

1) 九州地方会ホームページの運営方針について

・岡大会長から、九州地方会単独のホームページの維持費（現在年間約18万円）の削減についてのご提案があった。石谷特別幹事より、近畿地方会はメテオ社を通じて年間3万円でホームページの管理をしてくれる業者様と契約をしているため、九州地方会もよりリーズナブルな業者を探すか、本会の会員ページに九州地方会のフォルダを追加してもらうかの方法がある旨ご提案があった。

・山崎監事より、ホームページの管理をメテオ社以外の会社に依頼するあるいは本会のフォルダに追加してもらうとなった際に、これまでの九州地方会ホームページの情報を移すことが可能かどうか分からず、ニュースレターなどは紙媒体の原本がもう無いため、現在の九

州地方会ホームページの内容をダウンロードして情報が無くなる事態を避けるべきとのご意見があった。

・木船県代表幹事より、詳しい先生を委員にして自前でホーム作成を行うことについてご提案があった。石谷特別幹事より、5万円以下を目途にリーズナブルな業者さんを探してきちんと契約する方が団体としては相応しい形態のため、近畿地方会などに問い合わせてくださいる旨ご発言があった。

2) 適格請求書について

・宮川県代表幹事より、インボイス制度導入に伴い、大会参加費は適格請求書の発行が可能かという旨のご質問があり、馬場準備委員長より、公益社団法人のため本会から領収証を発行すること、適格請求書の発行が可能である旨ご説明があった。

3) 地方会に常設の委員会を設けることについて

・井上県代表幹事より、地方会に常設の委員会を設けることにつき現在の状況について質問がなされた。福本副会長より、地方会連絡協議会にて各地方会や本会と進めていく議題のため、新たな展開があったらご報告する旨回答があった。

・井上県代表幹事来春宮崎県でセミナーを行う予定があるため、講師の謝礼をどうすれば良いのかご質問があり、石谷特別幹事より、予算は年度末べだが、年明け1月頃に役員会を開いて本会に相談すれば、4月開催日に間に合うように謝礼を準備する相談はできるという旨ご回答があった。

福本副会長より、市民公開講座という形にすれば、講演費や会場費に補助金が出せるので、応募していただくのが良いと思われるが、その場合対象が一般市民にまで広がることになる旨ご説明があった。

5. 監事総評

・山崎監事から総評を頂いた。

6. 閉会の辞

・今村副会長が閉式の辞を述べられた。